

## (公開学習Ⅱ) 小学校第4 学年1 組 国語科学習指導案

授業者 金澤 久美子

小学校 4 年 1 組教室

### 1 単元名「すてきなことばのプレゼント～ことばの世界を広げよう～」

### 2 授業構成

#### (1) 教師と教材

人は、自分の考えや思いを表そうとしてことばを選ぶが、個々の性格や価値観、生活様式などによってことばの選び方は違ってくる。また逆に、選んで使うことばによって一人一人の心の様子も形成されていくものだと考える。そうすると、人の心を明るくさせたり、安心させたりすることばを数多く知っていて適切に使うことができる児童は、自分自身も明るく安定した気持ちで日々を送れるのではないだろうか。つまり、豊かなことばは児童を豊かに育て児童と人とのつながりを深めていく力を持っていると言えよう。

本単元は、新学習指導要領第3 学年及び第4 学年の目標(2)「相手や目的に応じ、調べたことなどが伝わるように、段落相互の関係などに注意して文章を書く能力を身に付けさせるとともに、工夫をしながら書こうとする態度を育てる。」に関わる単元である。内容としては、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」(1)イ(オ)「表現したり理解したりするために必要な語句を増やし、また、語句には性質や役割の上で類別があることを理解すること。」を扱う。本単元では、児童の語彙を増やして適切で多様な表現ができる力を育てたり、ことばのおもしろさを感じさせたりすることをねらっている。

そして、このような相手がうれしくなることばや心のこもったほめことばを「すてきなことば」としてたくさん集める活動を通して、温かく豊かなことばの力で児童の心を耕したい。コミュニケーションの手段としての肯定的な温かいことばが教室内にあふれるような活動を工夫し、自分の優しさや相手を認める気持ちをことばにして表現できるような精神面の力も育てたいと考える。友達の長所を見つける活動は、アサーショントレーニングなど学級活動に取り入れられることが多いが、その活動のためには見つけた長所を正しくことばで認識し、適切に表現する言語能力が身に付いていることが必要になる。また、ほめられた経験が多い児童ほどほめことばの語彙も多く、実感のこもったほめことばを使うことができることから、活動を通してたくさんの「すてきなことば」が飛び交うような学級づくりをめざす意味でも、価値のある単元といえる。

また、「自分の大切な人にことばのプレゼントを贈る」活動では、家族を対象にして「すてきなことば」を選ぶ。本単元の導入として、物よりも心のこもったプレゼントをもらう幼年童話を読み聞かせたり、指導者の体験を話したりする中で、プレゼントをもらってうれしいのはそれにこめられた気持ちがうれしいからであることに気づいてほしい。同じように、向けられたことばにもその裏に気持ちがこもっているからこそうれしいのである。決してお世辞や心にもないことばでは相手を喜ばせることはできないということに気づき、ことばの大切さを感じ取らせたい。また、プレゼントを受け取った家族には、それぞれの児童が苦心して作った「ことばのプレゼント」であることを伝え、ぜひ何らかの返事を伝えてほしいと思う。そのような心のやりとりがあつてこそ、ことばを大切に伝える心情や態度が育つと考えている。

## （２）子どもと教師

中学年は、今までの「身近な生活の中の言語の世界」から「観念的・抽象的な言語を含む世界」へ広がっていく時期である。児童は、日常の家族や友達との会話には出てこないことばを読書やテレビ視聴などを通して身につけ始める。例えば、「ぼくは鉄道が好きだ。」ということを「ぼくは鉄道に興味がある。」と表現できたり、「ぼくは鉄道のとりこだ。」と聞いても理解できるようになったりしてくる。しかし実際に使うことばは種類が限られている。ほとんどの事柄の表現を「すごい・おもしろい・たのしい・やさしい」などのごく限られたことばでまかなってしまっている傾向が強い。どのようにすごいのか、どのようにおもしろいのかをもう一度問いたださない限り、おおまかであやふやなイメージのまま相手に伝えることができってしまう状況がある。また、ことば以外の話す表情や身振り、声の抑揚などで相手に伝わる部分が多いため、ことばを厳選しなくてもコミュニケーションがとれたように感じてしまっている状況もある。

本学級の児童は、読書好きな児童が多く、ことわざや四字熟語などに関心を持っている児童もいる。話の内容を端的にことわざで表現しようと試みたり、似たようなことばの意味の微妙な差に気づいたりする場面も時々みられる。４年生は、そのようなことばに対する興味や関心が広がる時期であるともいえる。しかし、児童の大部分は知ってはいるが特に意識したことがないというレベルの語彙を多く持っており、いざ「すてきなことば」を考えようとしても限界があると思われる。そこで、学校図書館の本を資料として「すてきなことば」集めの活動を取り入れる。児童は、物語ばかりでなく伝記や歴史を扱った本などから、「見とれる・達人・かけがえのない」など自分たちだけでは思いつかなかったことばを見つけ、少しだけ高度な「すてきなことば」の語彙を増やすことができる。

本単元の活動を通してこのように意識的にことばを集めたり、吟味したりすることで「いろいろなことばを使えることは少し大人びてかっこいい」という価値観を身につけさせ、また「似たような意味でも少し違うからもっとぴったりのことばを選びたい」という意欲をもたせることができると考える。

また、否定的なことばや流行語は児童の間にすぐに広まり定着するが、肯定的なことばはかなり意識をしないと定着しにくいという実態がある。そこで、このほめことばに注目させる本単元の学習を肯定的なことばに対する意識を深めさせるきっかけにしたいと考える。

## （３）子どもと教材

本単元の最終目標となる活動は、「自分の大切な人に自分の思いを伝えるための最適なことばを選び出すこと」である。そのためには、まずいろいろなことばを獲得することが必要になる。すでに知っているが使っていないことばの他に、友達の知識、本から得た知識などを合わせてことばの数を増やしたい。児童は日頃、少ない数のことばで表現しているのでウォーミングアップとして例文づくりやことばの言い換えの活動を組み、知識を総動員してことばを集める感覚に慣れさせたい。

次に、最適なことばを選ぶために対象に対する自分の思いをはっきり認識する必要がある。本時のねらいは、単に「ほめる」のではなく、何らかの価値や基準に基づいて相手を「認める」ことを意識させることである。ことばを通して自分の感情を客観的にみることはことばを練り上げるために大きな意味を持つ。そこで、グループ活動の中で、複数のことばを出し合い比較させるなど、共通の人物に対するよりぴったりのことばを話し合わせ、後の個別の活動につなげたい。

もう一つ大切なことは、人をほめる際の照れる気持ちを少なくさせる必要があることである。そこで、ことば遊び的な要素を取り入れて楽しみながら学習させ、「肯定的なことば・ほめことば・すてきなことば」に対する抵抗を取り除くよう工夫したい。また、導入時に、相手を喜ばせるのは物ではなくその

裏にある送り手の心であることに触れ、第3次の「大切な家族へのプレゼント作り」への意欲を持たせる。本時の活動は、その第3次の活動につながる内容だと意識させておくことで、意欲を高め真剣に考えることができるだろう。

本単元の活動を通して、相手に対することばをもっと大切に選び、使おうという気持ちを育てることができるよう、自分の思いと深く関わらせた活動をさせたい。

### 3 単元の目標

- 様々なことばが存在することに関心を持ち、人の長所を表現する多様なことばを使って自分の思いを表現することができる。

### 4 学習計画（全6時間）

第1次 ことばのプレゼントを作るために「すてきなことば」を集めて、使ってみよう。

第1時 絵本「ひなぎくのはらのおかしなだれかさん（松野正子作）」を読み、大切な人に心のこもったことばのプレゼントを作ろうという意欲を持つ。

知っていることばや本の中のことばから、人をほめる「すてきなことば」を集める。

第2時 実際の場面を想定しながら、いろいろな「すてきなことば」を使った例文を作る。

第2次 友達のよいところを表現する「すてきなことば」を集めよう。

第1時 4人グループの中の1人ずつに一つの長所を設定し、そのうち1人に対して様々なことばで表現して伝える。

第2時 あとの3人の友達に「すてきなことば」を考え、相手に伝える。 **（本時）**

第3次 大切な家族のために、「すてきなことばのプレゼント」をつくろう。

第1時 大切な家族の一人を思い、その人にぴったりのことばを集めてプレゼントの下書きを書く。

第2時 下書きを推敲し、カードに清書して箱に入れ、プレゼントを完成させる。

### 5 本時の学習について

#### （1）本時の目標

対象の人物のよさや、その人に対する自分の思いを表すために、最適な言葉を使って表現することができる。

#### （2）期待される児童の様相

A 対象の人物に対して、実感のこもった最適なことばを工夫し、多様に表現することができる。

B 対象の人物に対して、より最適なことばを選ぼうとし、多様に表現することができる。

C 対象の人物に対して、その良さを表すことばを選び、表現することができる。

(3) 本時の展開 (○教師の意図 ◇全体への支援 ◆個への支援)

| 学習活動                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 教師の意図と支援                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>1 本時の学習のめあてを知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「グループ内の友達の長所を一点選び、それをいろいろなことばで表現して伝える。」という活動内容を確認する。</li> <li>・前時までの活動で使うことができた「すてきなことば」をいくつか思い出し、本時の活動を具体的にイメージする。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | <p>1 ○「すてきなことば」の定義を確認し、さらにぴったりのことばを見つけようという意欲を持たせたり、いろいろなことばで表現することができることに楽しさを感じたりさせたい。</p> <p>◇「すてきなことば」相手が聞いたら気持ちがよくなることば<br/>相手の良いところをうまく表したことば<br/>普段あまり使わない工夫したことば<br/>相手への思いがこもった温かいことば</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">友達にぴったりの「すてきなことば」を伝えよう。</div>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| <p>2 グループごとに、友達の長所を「すてきなことば」で言い表す活動をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前時に決定した児童 A の長所を、児童 BCD が別のことばで表現し、ワークシートに書く。<br/>(例：かしこい→物知りだ・頭の回転が速い・機転が利く・ちえがある・博士みたい)</li> <li>・その表現の根拠となる様子やできごとをワークシートに書く。</li> <li>・児童 B C D に対しても同じように「すてきなことば」を見つける。</li> </ul> <p>3 グループごとに、ワークシートへの書き込みをもとに相手へ「すてきなことば」を伝える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1人に対して3通り以上の「すてきなことば」とその根拠を伝える。</li> <li>・伝えられた児童は、その言葉を受けて思ったこと、感じた気持ちを返す。<br/>(例：初めて言われてうれしかった。<br/>自分ではそう思わなかったので驚いた。)</li> </ul> <p>4 グループで出た「すてきなことば」の中からいくつかを全体に紹介する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループの中で、特に良かった表現を発表し、全体で共有する。</li> <li>・ことばを伝えられた児童の感想も発表する。</li> </ul> <p>5 次時の活動を確認し、学んだことをもとに「ことばのプレゼント」を作る意欲を持つ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・次の時間までにプレゼントを渡す相手を一人決めておくようにする。</li> </ul> | <p>2 ○対象の友達の一つの長所を共通にイメージさせ、自分の知っている様子やできごとと関わらせながら、ことばで表現するようにさせる。</p> <p>◇「すてきなことば」を選び、吟味するためのポイントを提示する。</p> <p>① その友達にぴったり合ったことばかどうか。<br/>② そのことばを選んだ理由がはっきりしているかどうか。<br/>③ 工夫したことばかどうか。</p> <p>◆なかなか思いつかない児童には、前時までに与えられたことばの中から選んでも良いことを伝える。</p> <p>3 ○相手を目の前にして直接伝えさせ、実感のこもったことばとして意識させたい。</p> <p>○何となく感じるイメージや先入観、固定観念ではなく、具体的な事実に関連させてことばで表現させたい。(例：車のことをよく知っていて、走っている車の車種を当てていたから、車博士みたいだ。)</p> <p>○ほめられる経験とそのときのうれしい感情を、次に自分が相手に伝える際に関連させ、実感をこめて伝えられるようにさせたい。</p> <p>4 ○自分が思いつかないような表現方法に目を向けることで、ことばの多様な表現の楽しさに気づかせる。</p> <p>◇ほぼ同じ意味の言葉、少しニュアンスが違うことばなどに気づかせたい。</p> <p>◇ほめられて素直に嬉しいと言える児童を評価する。</p> <p>5 ○自分の大切な人に、思いをこめて工夫した、自分だけの「ことばのプレゼント」を作る意欲を持たせたい。</p> <p>◇次時に使うプレゼント用のカードを見せ、すてきなプレゼントを作りたいという意欲を高める。</p> |